

2024 長崎ストライカープロジェクト実施報告書

報告者 FAコーチ 川内 満

12月22日（日）に長崎ストライカープロジェクトを実施しましたので、以下の通り、報告致します。

名称：2024 長崎ストライカープロジェクト・
日程：2024年12月22日（日）13：00～15：00
場所：トランスコスモススタジアム長崎
講師：武田修宏氏（元サッカー日本代表）・神崎大輔氏（鎮西学院大学サッカー部監督/元Jリーガー）
参加者：U14/15トレセン（FW選抜メンバー）

【プロジェクトの内容】

- ・武田修宏氏をメインコーチ、神崎大輔氏をサブコーチとして招聘しストライカーに特化したトレーニングを開催した。
- ・選手は、長崎県U15トレセンメンバー（17名）と長崎県U14トレセンメンバー（7名）のFW計24名が参加した。
- ・長崎県技術委員会の研修会として実施した。
- ・第2回3種、4種（仮称）トレセンダイレクター研修会として実施した。

【プロジェクトの目的】

- ・ストライカーに特化したトレーニングを実施することで非日常の空間を選手たちに提供すること。
- ・本物に触れることで選手たちの意欲や成長を促すこと。
- ・長崎県内の指導者のレベルアップ。
- ・長崎県内のFWの選手の育成。

【プロジェクトの結果と効果】

武田修宏氏と神崎大輔氏の献身的なコーチングにより、明らかに数名の選手に変化が見えたトレーニングセッションとなり大きな収穫が見られた。武田氏はプロジェクトの2日前に長崎入りし当日のシュミレーションや我々、技術委員会のメンバーとも積極的にコミュニケーションを取るなどプロジェクトを成功させる為の高いプロ意識を実践されている姿を垣間見ることができた。残念ながら選手たちが非常におとなしく消極的な場面も多く見られ武田氏と神崎氏の頭を悩ませる要因となった。最後のゲームでは、シュートの場面で改善されたプレーも多数見られ今後の成長に期待したい。

【今後について】

改めて「指導者がkey」という事を再認識することが出来た。指導者で選手は変わる。歴代の日本人ストライカーの中でも記録と記憶に残っている武田氏のトレーニングやコーチングは沢山の学びがあった。ゴールを奪うための深いこだわりや「シュートはコースに流し込む」「100%の力ではなく80%で打つ」「ペナルティエリアでは慌てない」「シュートはボールを叩く」など、わかりやすいデモとコーチングは、説得力がありストライカーとして生き抜いた方の本物の声を聞くことが出来た。今後も可能な限り年に数回、ゲストコーチを招聘し継続して活動を行うことで選手達も経験値が上がる。また、「本物」に触れることで指導者も刺激を受け、さらに長崎のレベル向上に繋がる事が予想される。実際にプロのサッカー選手として長年に渡り結果を残してこられた方のこだわりや近年、忘れがちになっているポジション別のトレーニングの大切さを痛感することが出来た。今後の活動に活かして行きたい。

